

国営事業だより 第2号

－関川用水農業水利事業の実施状況と平成30年度計画について－

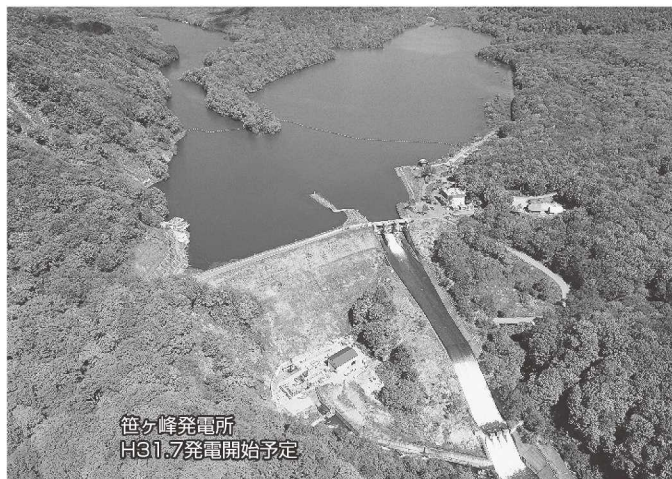
平成30年 1 月

北陸農政局関川用水農業水利事業所
上越市稲田1-1-7 TEL (025)521-6040

関川地区土地改良区連合
上越市大字長面14-1 TEL (025)524-8800

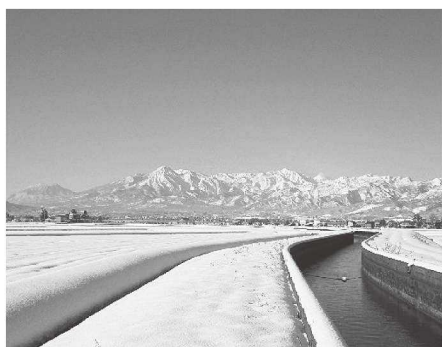


野尻湖（雲海） 江戸時代から農業用水に利用

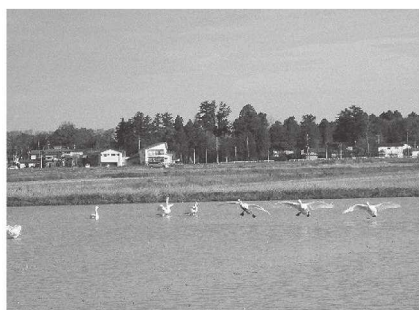


笹ヶ峰発電所
H31.7発電開始予定

笹ヶ峰ダム 改修工事と併せて小水力発電所を建設中



関川流域の恵みを運ぶ中江幹線用水路



毎年、水張り水田に白鳥が飛来



農道ターンで大豆収穫も効率up

一 はじめに

平成30年産から新たな米政策が始まり、農業生産者の主体的な経営判断で市場に応じた生産販売が行われることとなります。

農林水産省では、農業の変革を支援するため、水田活用の直接支払交付金や収入保険制度を措置するほか、農地の大区画化や畑地化により競争力を強化するとともに、防災・減災対策を推進する観点から、農業農村整備事業をより一層推進することを掲げています。

上越地域では良質米産地としての評価は高いですが、全国では毎年約8万トンの米需要が減少する中で、家庭用米は供給過剰、業務用米は不足となっている状況にあります。このような中で、作りたい米から求められる米への作付け転換を始め、大区画ほ場による生産コストの低減、水田園芸作物の導入による複合経営、育苗ハウスを利用した周年栽培など、雇用と収益の安定化が必要となります。

二 国営関川用水地区の実施状況

平成26年度から国営関川用水地区に着工し、四年が過ぎようとしています。

昨年は、笹ヶ峰ダムの取水ゲート、減勢工やダム管理設備の改修と小水力発電所の附帯施設の建設を鋭意進めてきました。

また、昨年十月二十三日の台風豪雨で妙高市西条地内の上江用水路が地すべり土塊で完全に閉塞する事態が生じました。幸いにして人災には至らなかったものの、溢水被害と約二千三百畝の冬期用水を早急に対応すべく応急復旧工事を実施したところです。

このほか、平場系の用水配水システムの更新に先立ち、用水系統毎の課題と原因を究明した上で、維持管理費の軽減に繋がる施設設計も進めています。

台風豪雨による上江用水路の被災と応急復旧の状況



閉塞上流部（被災直後）H29.10.23



閉塞上流部（応急復旧後）H29.11.7



閉塞下流部（応急復旧後）

平成30年度の実施計画

（1）洪水吐改修工事（H30～H33）

ラジアルゲート3門の補修、巻上機・機側操作盤の全部更新、コンクリート構造物（堰柱、導流壁、急流水路等）の補修対策



（2）電気設備更新（H30～H31）

ダム管理事務所の高圧受変電設備は、既に34年経過（耐用年数20年）し、漏電が著しいため全部更新



（3）繋船設備新設（H30）

減勢バルブ、小水力発電所（H31.7）が本格稼働すると、細かな集塵作業が必要。このため、撤去作業の安全性と効率性を備えた集塵船と塵芥の搬出施設を新設



（4）幹線用水路 川上隧道改修（H30）

トンネル背面の空洞が著しく、裏込め充填等の保全対策



（5）笹ヶ峰ダム緊急堆砂対策（H30）

取水放流ゲートの機能回復、緊急放流ゲート改修のため、最小限の範囲で浚渫による堆砂除去を実施



（6）新中央管理所へ移設（H30）

現在の中央管理所（上越市鴨島）のダム遠方監視装置を関川水系土地改良区事務所に今秋移設

